

ヤマオダマキ

Aquilegia buergeriana Sieb. et Zucc.

キンポウゲ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

石川県では生育地が限定しており、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

茎は直立し、まばらに枝を分ける。葉は互生し、2回3出複葉で、小葉はくさび形、花は茎の先に花柄を出して花を下向きに咲かせる。萼片は狭卵形で紫褐色、花卉の上部は淡黄色となって広がり、下部はしだいに紫褐色の距となる。

国内分布

北海道～九州に分布する。

県内分布

南加賀区のブナクラス域に分布する。

生態など

高さ30～80cmのやや中形の多年草である。開花期は6～8月。果実には袋果で粘着性のある細かい毛が密生する。

生育環境

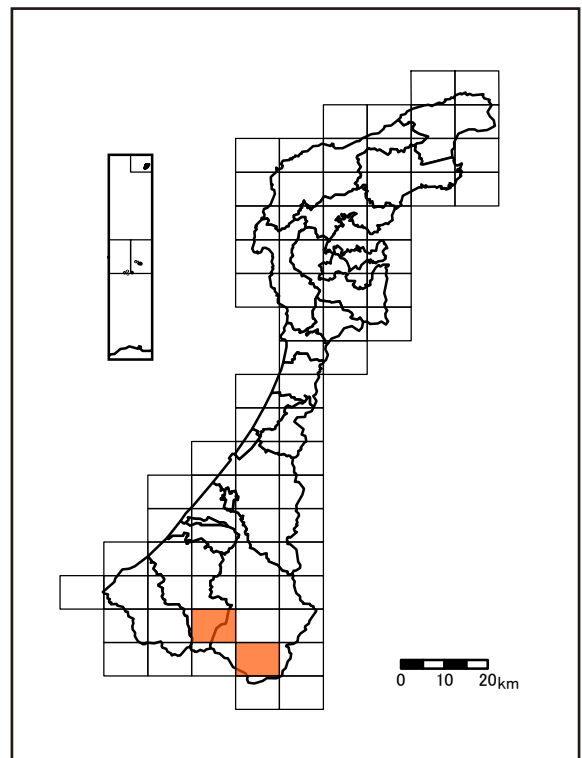
山地の日当たりのよい林縁や道ばたの草むらに群生する。

危険要因

道路工事、園芸採取、産地局限。



本多郁夫・2008年7月1日・白山市



県内の分布